

せんなん感染症情報 令和6年4月号

宮城県感染症発生動向調査 第10週～第13週より（令和6年3月4日～令和6年3月31日）

仙南保健所管内の全数報告疾病

- 1類感染症：報告なし
- 2類感染症：結核(無症状病原体保有者)
- 3類感染症：報告なし
- 4類感染症：報告なし
- 5類感染症：水痘（入院例）

仙南保健所管内の感染症警報・注意報

第13週現在、インフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が警報レベルを継続中です。

宮城県仙南保健所



仙南保健所オリジナルキャラクター「てあらっこ」

～ 注意が必要な感染症 ～

麻しん（はしか）

2015年3月に日本は麻しん排除国となりましたが、海外では流行しているため、国内でも、海外からの輸入症例や輸入症例からの二次感染事例が報告されています。宮城県では、2019年の4例以降、患者の報告はありませんが、全国的には毎年発生報告があり、最近でも2024年2月以降、東京、大阪はじめ国内各地で麻しんの感染者が確認されています。

麻しん（はしか）とは？

麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症です。感染経路は、**空気感染**、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染します。感染力が非常に強く、麻しんの免疫がない集団に1人の発症者がいた場合12～14人の人が感染するとされています(インフルエンザでは1～2人)。麻しんは免疫がない人が感染するとほぼ100%発症します。また、発症1日前から感染力があり、症状が軽いうちは麻しんであることに気づかず行動し、空気感染等で無意識に感染を広げる可能性があるため、注意が必要です

症状

- ・感染すると、約10日後に**発熱**、**咳**、**鼻水**などの風邪のような症状や**結膜炎（目の充血、目やに）**が現れます。2～3日熱が続いた後、39℃以上の**高熱**と**全身の発疹**が出現します。
- ・通常は、7～10日程度で症状は徐々に回復します。
- ・合併症として肺炎、中耳炎を起こしやすく、患者1000人に1人の頻度で脳炎を起こすことがあります。また、10万人に1人程度と頻度は高くないものの、感染後、特に学童期に**亜急性硬化性全脳炎（SSPE）**と呼ばれる中枢神経疾患を発症することがあります。



医療機関受診の前には必ず連絡を！

麻しんに感染した可能性があり、発疹、発熱などの疑わしい症状がある場合は、「症状」と「麻しんの疑いがあること」を医療機関に連絡し、受診の可否など、医療機関の指示に従ってください。

麻しんの感染力は非常に強いため、移動される際は、周囲の方への感染を防ぐため、公共交通機関の利用は避けてください。

予防には、「2回のワクチン接種」が有効です！

1) 定期接種を受けましょう

（第1期：1歳児、第2期：小学校入学前の1年間の幼児）

2) 過去の麻しん罹患歴やワクチン接種歴が明らかではない場合は、抗体検査やワクチン接種を検討しましょう。

特に、**医療従事者**、**学校関係者**、**保育・福祉関係者**など感染するリスクが高い方や麻しんに罹患することで周りへの影響が大きい場合や、**麻しんが流行している国に渡航する場合は**、抗体検査やワクチン接種をご検討ください。



- 御意見・御質問などは仙南保健所疾病対策班までお願いします。 電話：0224-53-3121 FAX：0224-52-3678
- この情報は、宮城県仙南保健福祉事務所HP (<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sn-hohuku/>) にも掲載してあります。
- もっと詳しく知りたい場合は、宮城県公式HP (<https://www.pref.miyagi.jp/>)、宮城県保健環境センターHP (<http://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/>) をご覧ください。
- 施設内研修として保健所職員による感染症の予防に関する出前講座も必要に応じて行っています。